

報道関係者各位

産学官民連携・知的財産のホームページをリニューアル －研究成果と知的財産の活用を積極的に進めます－

ポイント

- ・情報にアクセスしやすくするためにレイアウトを変更しました。
- ・最新情報（主に実用化カタログ）を公開します。
- ・今後も随時情報を発信予定です。

概要

森林総合研究所では、森林・林業・木材産業にかかわる研究を通じて、林業の再生と新たな価値を生み出す産業の創出を目指し、産学官民連携や研究成果と知的財産の活用を積極的に推進していくこととしています。

このたび、森林総合研究所のホームページ上に、産学官民連携や知的財産に関する情報を掲載したページをリニューアルして公開しました。

研究成果の活用などの参考としていただくとともに、産学官民連携に関心をお持ちの方々からのお問い合わせをお待ちしております。

掲載内容

社会実装

- ・実用化カタログ
「森林産業実用化カタログ 2025」として注目度の高い研究成果を選抜して紹介
- ・展示会
研究成果の公開、交流のために参加している様々な展示会の一部を紹介

共同研究・受託研究

秘密保持契約（NDA）

成果有体物提供契約（MTA）

実施（使用）許諾契約

- ・特許権
- ・商標権
- ・ベンチャー支援

【参考資料】産学官民連携・知的財産 専用ホームページ



URL <https://www.ffpri.go.jp/sangakukan/index.html>

産学官民連携・知的財産



森林総合研究所は、森林・林業・木材業にかかわる研究を通じて、林業の再生と新たな価値を生み出す産業の創出を目指し、産学官民連携や研究成果（知的財産）の活用を積極的に推進していきます。

このため、産学官民・国際連携推進本部を設け、研究成果や技術等の発信を行い、民間企業や各種団体、大学、国等との連携・橋渡しを統括して推進するとともに、社会実装推進・知財戦略室がその窓口として橋渡しのための具体的ご案内や共同研究等のコーディネートを行っています。

また、支所に産学官民連携推進調整室を置き、研究成果の地域への移転を促進するとともに、ニーズの掘り起こしやその問題解決を図るべく事業体、森林組合、NPO法人、企業、自治体等と連携し、地域に密着したコーディネート活動を行っています。

産学官民連携に関心をお持ちの方々からのお問い合わせを歓迎します。

社会実装

研究成果の社会実装や産学官民とのより一層の連携強化を目的に次の活動を行っています。

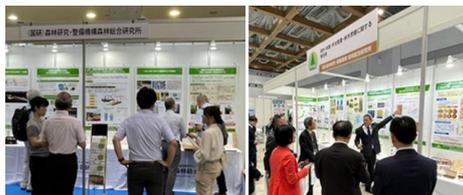
実用化カタログ



- 森林の多面的機能の発揮
- 森林資源の育成と安定供給
- 病虫害害の防除とこの等微生物の利用
- 木材利用技術の高度化と需要拡大
- 木質新素材とエネルギー利用
- 多様な森林の造成・保全と持続的資源利用に貢献する林木育種

注目度の高い研究成果を選抜、6つの分野に分類してカタログを作成しています。詳しくはリンク先をご覧ください。

展示会



研究成果の公開、交流のため様々な展示会に参加しています（参加事例を一部ご紹介）。

- アグリビジネス創出フェア（主催：農林水産省）
- FORESTRISE（次世代森林産業展）（主催：産経新聞社）
- SATテクノロジー・ショーケース（主催：一般財団法人茨城県科学技術振興財団）

01 日本産樹木種DNAバーコードライブラリーの作成



【技術のポイント】

日本全国の23地点から6216個体（43目99科303属534種）の樹木を採取し、日本産樹木の70%以上を網羅する「DNAバーコードライブラリー」を作成し、国内外のデータベースで公開しました。これにより植物の専門家だけでなく一般市民も簡単に種を特定できるようになります。生態系保全や環境対策など多様な場面で活用が期待されています。



【連携・橋渡しの方向】

本ライブラリーは、研究機関のデータ共有を促進し、分子生物学や生態系保全など多分野の方との連携を希望します。また、国際的なデータベース登録により、グローバルな研究協力が貢献する重要な基盤となります。

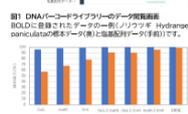


図1 DNAバーコードライブラリーのデータ閲覧画面
BOLDに登録されたデータの一例（ノリウツギ *Hydrangea paniculata*の標本バーコード）の検索結果（写真参照）です。

【詳細情報】

プロジェクト URL: <http://www.ffpri.go.jp/forest/001/2023/05/>
お問い合わせ: ffpri@ffpri.go.jp
住所: 〒100-8501 東京都千代田区中央1-1-1
所属: 森林総合研究所 知財戦略室

【担当者】

樹木分子遺伝研究領域・鈴木敬子

02 スギの雄性不稔遺伝子MS1判別マニュアル



【技術のポイント】

スギの雄性不稔を引き起こし、無花粉スギの原因となるMS1遺伝子のDNA配列の多様性を、PCR電気泳動を用いて迅速かつ正確に判定する技術を開発しました。MS1遺伝子の迅速判定を可能にする簡便なPCR法、フラグメント解析、LAMPA法の手順を分かりやすくまとめたマニュアルとして公開しました。



【連携・橋渡しの方向】

本技術はMS1遺伝子の実用による無花粉スギ苗の選抜と生産を大幅に効率化します。無花粉スギ苗の生産者だけでなく、その子孫の遺伝子解析を行う企業にも活用いただけます。



図1 スギの雄性不稔遺伝子MS1をPCRで増幅した際のPCR産物（雄株不稔）と正常株のPCR産物（雄株）の比較。MS1遺伝子の雄株不稔の一例としてフラグメント解析、下位右（泳動方向）参照。

【詳細情報】

マニュアル URL: <http://www.ffpri.go.jp/forest/001/2023/05/>
お問い合わせ: ffpri@ffpri.go.jp
住所: 〒100-8501 東京都千代田区中央1-1-1
所属: 森林総合研究所 知財戦略室

【担当者】

樹木分子遺伝研究領域・橋田博尚

お問い合わせ先

【研究に関するお問い合わせ】

森林総合研究所 企画部研究管理科社会実装推進・知財戦略室

Tel: 029-829-8137 E-mail: sangaku@ffpri.go.jp

【報道に関するお問い合わせ】

森林総合研究所 企画部広報普及科広報係

Tel: 029-829-8372 E-mail: kouho@ffpri.go.jp

本資料は、農政クラブ、農林記者会、林政記者クラブ、筑波研究学園都市記者会に配付しています。